

講義科目名称： 日本国憲法

授業コード：

英文科目名称： Japanese Constitution

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前・後期	1～2年	2単位(2-0)	選択必修科目(教養教育一般科目)
担当教員			
運天 寛樹			
授業形態：講義	ナンバリング：英 SSS121601		ナンバリング：保 SSS111601
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	本講義では、日本国憲法の基本原理を学んだ上で、私達の身近にある憲法に関する具体的な問題をより深く理解することで、憲法における人権規定や統治機構についての基本的な考え方、新たな問題に対する思考方法を取得できるようにします。
授業の概要	まず、近代立憲主義が確立されてきた世界の歴史や日本国憲法が成立するまでの歴史をたどり、次に、憲法で保障されている基本的な権利の内容について基本的な事項を解説します。そして、基本的人権を保障するための国の仕組み(統治機構)や平和主義について理解を進める予定です。 また、授業のなかでは、なかなか学生が接する機会が少ない法曹界についてや、法律入門的な内容も取り入れます。
授業計画	<p>第1回 ガイダンス、法学概論 ①授業の進め方、基本的なスタンスを説明する ②近代立憲主義の確立について基本的な知識を取得する ③明治憲法から日本国憲法への歴史的な流れについて基本的な知識を取得する ④場合によっては、基本的な知識確認用の小テストを講義の最後に実施する 事前準備：教科書の憲法の条文に目を通す(120分) 事後の復習：レジメの見直し(120分)</p> <p>第2回 近代立憲主義の確立、明治憲法から日本国憲法へ ①立憲主義について基本的な知識を取得する ②国民主権の原理について基本的な知識を取得する ③場合によっては、基本的な知識確認用の小テストを講義の最後に実施する 事前準備：教科書末尾の憲法の条文に目を通す(120分) 事後の復習：レジメの見直し(120分)</p> <p>第3回 人権総論(人権の分類、新しい人権、外国人の人権) ①基本的人権の原理について基本的な知識を取得する ②人権の享有主体について基本的な知識を取得する ③幸福追求権、プライバシーの権利について基本的な知識を取得する ④場合によっては、基本的な知識確認用の小テストを講義の最後に実施する 事前準備：教科書の該当箇所を目を通しておく(120分) 事後の復習：レジメの内容を見直し、教科書の該当箇所を再度読む(120分)</p> <p>第4回 子どもの人権 ①基本的人権の限界について基本的な知識を取得する ②場合によっては、基本的な知識確認用の小テストを講義の最後に実施する 事前準備：教科書の該当箇所を目を通しておく(120分) 事後の復習：レジメの内容を見直し、教科書の該当箇所を再度読む(120分)</p> <p>第5回 法の下での平等 ①法の下での平等について基本的な知識を取得する ②場合によっては、基本的な知識確認用の小テストを講義の最後に実施する 事前準備：教科書の該当箇所を目を通しておく(120分) 事後の復習：レジメの内容を見直し、教科書の該当箇所を再度読む(120分)</p> <p>第6回 精神的自由権①内心の自由 ①内心の自由(思想良心の自由、信教の自由、学問の自由)について基本的な知識を取得する ②場合によっては、基本的な知識確認用の小テストを講義の最後に実施する 事前準備：教科書の該当箇所を目を通しておく(120分) 事後の復習：レジメの内容を見直し、教科書の該当箇所を再度読む(120分)</p> <p>第7回 精神的自由権②表現の自由 ①表現の自由(表現の自由の価値、表現の自由と知る権利、アクセス権)について基本的な知識を取得する ②表現の自由の内容、限界についての基本的な知識を取得する ③場合によっては、基本的な知識確認用の小テストを講義の最後に実施する 事前準備：教科書の該当箇所を目を通しておく(120分) 事後の復習：レジメの内容を見直し、教科書の該当箇所を再度読む(120分)</p> <p>第8回 精神的自由権③検閲の禁止 ①検閲の禁止についての基本的な知識を取得する ②場合によっては、基本的な知識確認用の小テストを講義の最後に実施する 事前準備：教科書の該当箇所を目を通しておく(120分) 事後の復習：レジメの内容を見直し、教科書の該当箇所を再度読む(120分)</p> <p>第9回 経済的自由権 ①経済的自由権(職業選択の自由、居住移転の自由、財産権の保障)の基本的な知識を取得する ②場合によっては、基本的な知識確認用の小テストを講義の最後に実施する 事前準備：教科書の該当箇所を目を通しておく(120分) 事後の復習：レジメの内容を見直し、教科書の該当箇所を再度読む(120分)</p> <p>第10回 社会権 ①社会権(生存権、教育を受ける権利、労働基本権)の基本的な知識を取得する ②場合によっては、基本的な知識確認用の小テストを講義の最後に実施する</p>

第11回	事前準備：教科書の該当箇所を目を通しておく（120分） 事後の復習：レジュメの内容を見直し、教科書の該当箇所を再度読む（120分） その他の人権、まとめ ①人身の自由についての基本的な知識を取得する ②国務請求権と参政権について基本的な知識を取得する ③場合によっては、基本的な知識確認用の小テストを講義の最後に実施する
第12回	事前準備：教科書の該当箇所を目を通しておく（120分） 事後の復習：レジュメの内容を見直し、教科書の該当箇所を再度読む（120分） 統治総論、国会、内閣 ①権力分立の原理について基本的な知識を取得する ②国会及び内閣について基本的な知識を取得する ③場合によっては、基本的な知識確認用の小テストを講義の最後に実施する
第13回	事前準備：教科書の該当箇所を目を通しておく（120分） 事後の復習：レジュメの内容を見直し、教科書の該当箇所を再度読む（120分） 司法 ①司法権の意味と範囲、裁判所の組織と権能、司法権の独立について基本的な知識を取得する ②場合によっては、基本的な知識確認用の小テストを講義の最後に実施する
第14回	事前準備：教科書の該当箇所を目を通しておく（120分） 事後の復習：レジュメの内容を見直し、教科書の該当箇所を再度読む（120分） 憲法の保障 ①違憲審査制、憲法改正の手續と限界について基本的な知識を取得する ②場合によっては、基本的な知識確認用の小テストを講義の最後に実施する
第15回	事前準備：教科書の該当箇所を目を通しておく（120分） 事後の復習：レジュメの内容を見直し、教科書の該当箇所を再度読む（120分） 平和主義、まとめ ①平和主義の原理について基本的な知識を取得する ②憲法の基本原理（立憲主義、国民主権）についての再確認を行う
第16回	事前準備：教科書の該当箇所を目を通しておく（120分） 事後の復習：レジュメの内容を見直し、教科書の該当箇所を再度読む（120分） まとめ 期末試験 択一式問題、穴埋め問題、小論文により知識の確認を行う。 事前準備：これまでの授業レジュメ、教科書の再確認（2時間30分） 事後の復習：期末試験でできなかった箇所の復習（90分）
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/> 2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/> 3) ICTの活用 <input type="checkbox"/> 4) 初年次教育 <input checked="" type="checkbox"/> 5) 実践的PBL <input type="checkbox"/>
テキスト	初宿正典他著『いちばんやさしい憲法入門第6版』有斐閣アルマシリーズ（有斐閣）
参考書	芦辺信喜、高橋和之補訂『憲法第七版』（岩波書店）
評価方法	期末試験の結果：60% 小テスト：20% 授業態度：20% などから総合的に評価する。
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) - : 出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(英語科) <input checked="" type="checkbox"/> 1. 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 <input type="checkbox"/> 2. 多文化・異文化に関する理解と国際的な視野を身につけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」、「知識・技能」をはじめ社会人にふさわしい教養および専門分野の基礎力と批判的思考力を身につけている。 <input type="checkbox"/> 4. 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の学位を授与する。 (保育科) <input checked="" type="checkbox"/> 1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追求する。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。
履修上の注意	受講希望者は、必ず第1回目の授業に出席してください。
オフィスアワー	授業終了後に随時質問を受け付けます。
課題に対するフィードバック方法	小テストについては、採点后返却をします。

講義科目名称： 体育理論

授業コード：

英文科目名称： Physical Education(Theory)

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	1～2年	1単位(1-0)	選択必修科目(教養教育一般科目)
担当教員			
安田 知子			
授業形態：講義(遠隔授業の可能性あり)	ナンバリング：英 PHY127101		ナンバリング：保 PHY1127101
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 「体育・スポーツ」を通して、現代社会に生きる人々や自分自身の「体(からだ)と内面(こころ)」について認識し、よりよいライフスタイルを構築するための知識と態度を養うことができる。</p> <p>【到達目標】 スポーツをスポーツ医・科学的観点から、以下の3つの領域について学ぶ。 <知識・理解>①スポーツを行う「体 からだ」を解剖学的知識(部位や働き)と運動学的知識(動き方)から考えることができる。 <技能>②スポーツによる外傷や障害の対処や予防、生涯における疾病の対処や予防に役立てることができるようになる。 <態度>③障がい者スポーツを学ぶことにより、垣根のない楽しむスポーツ(生涯スポーツやユニバーサルスポーツ)について考えることができるようになる。</p>
授業の概要	<p>授業は、座学及び簡単な実技とアクティブラーニングの手法を併用して進めていく。 「体育・スポーツ」をスポーツ医・科学という視点から、人体を構成する骨や筋の構造と機能について学び、さらにそれらの組み合わせによる身体の動きを実践する。また、スポーツを整形外科学や内科学といった医学的観点から、スポーツによる外傷や障害の対処や予防、生涯にわたる疾病の対処や予防について学ぶ。更に、障がい者スポーツを学ぶことにより、垣根のない楽しむスポーツ(生涯スポーツやユニバーサルスポーツ)について考え、自分たちで考案し、学生間で実践することにより、指導法についても学ぶ。 *遠隔授業の場合は、グループワークや実技/実践は一部変更します。</p>
授業計画	<p>第1回 コースオリエンテーション：体育・スポーツとは？健康とは？ これから学ぶ講義全体の流れと成績評価の説明。 体育、スポーツについての考え方とスポーツ医・科学の概要について学ぶ。 WHOによる健康の定義について学ぶ。 【事前学習】授業前に高校までの「体育・スポーツ」についての考えをまとめる。(30分) 【事後学習】講義内容のまとめと講義中に出題した課題レポートを提出すること。(30分) *遠隔授業実施の場合は、TeamsまたはZoomを使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p> <p>第2回 体育・スポーツ指導者に必要な医学的知識① スポーツ整形外科とスポーツ内科について学ぶ。 保育現場で起こるケガや病気について、統計データから読み解く。 【事前学習】体育・スポーツに関連した疾病についてをまとめる。(30分) 【事後学習】講義内容のまとめと講義中に出題した課題レポートを提出すること。(30分) *遠隔授業実施の場合は、TeamsまたはZoom使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p> <p>第3回 体育・スポーツ指導者に必要な医学的知識② 保育現場において注意を払うべき外傷/疾病について学ぶ。 集団で起きやすい疾病(指定感染症について)やケガについて確認する。 【事前学習】保育施設や学校等の集団生活に関連した疾病(指定感染症)についてをまとめる。(30分) 【事後学習】講義内容のまとめと講義中に出題した課題レポートを提出すること。(30分) *遠隔授業実施の場合は、TeamsまたはZoom使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p> <p>第4回 スポーツ・運動に特徴的なケガや病気 運動種目の特性によって起こるケガや病気について学び、予防に役立てる。 【事前学習】体育・スポーツに関連した疾病について新聞記事等から抜き出す。(30分) 【事後学習】講義内容のまとめと講義中に出題した課題レポートを提出すること。(30分) *遠隔授業実施の場合は、TeamsまたはZoomを使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p> <p>第5回 健康診断とメディカルチェック 一般的な健康診断とは何か、スポーツにおけるメディカルチェックとは何かを学ぶ。 (実際に簡単なチェックを実施する) 【事前学習】学校保健法における児童生徒の運動器検診について調べる。(30分) 【事後学習】講義内容のまとめと講義中に出題した課題レポートを提出すること。(30分)</p>

第6回	<p>*遠隔授業実施の場合は、TeamsまたはZoomを使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p> <p>ロコモティブシンドローム</p> <p>「ロコモティブシンドローム」と呼ばれる運動器症候群について、実際に自分のロコモ度を測ることから学ぶ。</p> <p>【事前学習】ロコモティブシンドロームについて調べる。(30分) 【事後学習】講義内容のまとめと講義中に課題レポートを提出すること。(30分)</p>
第7回	<p>*遠隔授業実施の場合は、TeamsまたはZoomを使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p> <p>健康習慣とスポーツ</p> <p>メタボリックシンドロームやダイエットとスポーツとの関連について学ぶ。 特に喫煙や飲酒との関連について考える。</p> <p>【事前学習】メタボリックシンドロームとは何か調べる。(30分) 【事後学習】講義内容のまとめと講義中に課題レポートを提出すること。(30分)</p>
第8回	<p>*遠隔授業実施の場合は、TeamsまたはZoomを使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p> <p>運動学 体の動きを科学する</p> <p>体の動き方を実践する。 ストレッチを通して、体(筋肉)の動きを分析する。 グループワークとして、数個のストレッチについて目的とする筋肉と方法をまとめ、プレゼンテーションする。 歩行運動を通して、美しい体の動きを確認する。 グループディスカッションとして、歩き方を観察し、「美しい歩き方」を模索する。</p> <p>【事前学習】今まで実施したことがあるストレッチについてまとめる。(15分) 自分の歩き方のクセを探し、文章化する。(15分) 【事後学習】講義内容のまとめと講義中に課題レポートを提出すること。(30分)</p>
第9回	<p>*遠隔授業実施の場合は、TeamsまたはZoomを使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p> <p>熱中症は自分で防ぐ</p> <p>水分補給と食事について考える。 冬季の熱中症について疾病との関連を学ぶ。</p> <p>【事前学習】冬の熱中症について調べる。 【事後学習】講義内容のまとめと講義中に課題レポートを提出すること。(30分)</p>
第10回	<p>*遠隔授業実施の場合は、TeamsまたはZoomを使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p> <p>体育・スポーツによって起こる事故について考える</p> <p>脳震盪や重度障害の残る外傷について学ぶ。 事故を想定した体育・スポーツイベントを開催するにあたっての計画を作成する(グループワークと発表)。</p> <p>【事前学習】新聞等で取り上げられるスポーツにおける重傷事故について調べる。(30分) 【事後学習】講義内容のまとめと講義中に課題レポートを提出すること。(30分)</p>
第11回	<p>*遠隔授業実施の場合は、TeamsまたはZoomを使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p> <p>応急処置</p> <p>外傷に対する一次処置(POLICE)と緊急時の一次救命処置(Basic Life Support:胸骨圧迫とAEDの使い方)を学ぶ。</p> <p>【事前学習】スマホアプリから応急処置に関連するものについて調べる。(20分) 【事後学習】講義内容をまとめ、レポートとして提出すること。 応急処置に関連するスマホアプリを調べ、課題提出する。(40分)</p>
第12回	<p>*遠隔授業実施の場合は、TeamsまたはZoomを使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p> <p>普通救命講習</p> <p>総務省消防庁のe-learning(一般市民向け応急手当WEB講習)を用いてBLS(一次救命処置)の基礎知識を学び、実技練習を行う。</p> <p>【事前学習】応急手当講習会について調べる。 【事後学習】講義内容のまとめと講義中に課題レポートを提出すること。(30分)</p>
第13回	<p>*遠隔授業実施の場合は、TeamsまたはZoomを使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p> <p>ユニバーサルスポーツ① 障がい者スポーツ</p> <p>障がい者スポーツの定義と東京オリンピック・パラリンピックとの関係を学ぶ。</p> <p>【事前学習】障がい者スポーツのイメージについてまとめる。(30分) 【事後学習】講義内容のまとめと講義中に課題レポートを提出すること。(30分)</p> <p>*遠隔授業実施の場合は、TeamsまたはZoomを使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p>

	<p>第14回 ユニバーサルスポーツ② 生涯スポーツ 生涯スポーツの考え方を学ぶ。 グループワークにより、子ども向けの新しいユニバーサルスポーツを探し、さらに自分たちで考案し、実践する。</p> <p>【事前学習】 ユニバーサルスポーツのイメージについてまとめる。(30分) 【事後学習】 講義内容のまとめと講義中に出題した課題レポートを提出すること。(30分)</p> <p>*遠隔授業実施の場合は、TeamsまたはZoomを使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p> <p>第15回 まとめ1 提出された課題に対するまとめ</p> <p>【事前学習】 今まで学習した内容について、質問事項等まとめる。(30分) 【事後学習】 講義内容のまとめと講義中に出題した課題レポートを提出すること。(30分)</p> <p>*遠隔授業実施の場合は、TeamsまたはZoomを使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p> <p>第16回 まとめ2 この講義全体の総まとめ 試験またはレポートの作成</p> <p>【事前学習】 15回に共有した内容について、質問事項等まとめる。(30分) 【事後学習】 今期の講義内容の総まとめと講義中に疑問に思った点等について提出すること。(30分)</p> <p>*遠隔授業実施の場合は、ZoomまたはTeamsを使って実施する。配布資料については、講義中に説明する。</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="checkbox"/></p> <p>4) 初年次教育 <input type="checkbox"/></p> <p>5) 実践的PBL <input type="checkbox"/></p>
テキスト	<p>テキストは使用しない。講義ごとに適宜資料を配布する。 *遠隔授業の場合は、TeamsまたはGoogleclassroomにて配布する。</p>
参考書	<p>①目で見える動きの解剖学—スポーツにおける運動と身体メカニズム— (ロルフ・ヴィルヘッド著、大修館書店、1994年版、2600円程度) ②基礎運動学 第6版 補訂 (中村隆一・齊藤宏・長崎浩著、医歯薬出版、2012年、7400円程度)</p>
評価方法	<p>15回の講義終了後の試験(50%)と課題/レポートの提出(50%)をもって評価する。 *遠隔授業においても同様とし、試験に替えたレポートを実施する。</p>
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) —：出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【 】1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。 【○】2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追求する。 【○】3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。 【 】4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。 【○】5. 学則に定める修業年限を満了し、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士(保育)の学位を授与する。</p>
履修上の注意	<p>講義中に体を動かすことがあります。事前にお知らせいたしますが、運動に適した服装で出席してください。遠隔授業においても、自宅内で行えるようにしますので、準備をよろしく願います。</p>
オフィスアワー	<p>在学時間(授業時間及び前後30分) および、メールおよびオンライン面談を行う。 メールおよび面談の設定については、(y-tomoko@oc.jc.ac.jp)で連絡すること。</p>
課題に対するフィードバック方法	<p>レポート/課題は、適宜講義にてフィードバックいたします。</p>

講義科目名称： 体育実技

授業コード：

英文科目名称： Physical Education (Sports)

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	1～2年	1単位(0-3)	選択必修科目 (教養教育一般科目)
担当教員			
音野 太志・喜屋武 享			
授業形態：実技	ナンバリング：英 PHY127102		ナンバリング：保 PHY1127102
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>[テーマ] スポーツの楽しさ、喜びを味わうことができる。</p> <p>[到達目標] 【知識・理解】 スポーツの楽しさを知る事ができる。各競技のルールを理解し、仲間と協力して取り組む事ができる。 【技能】 生涯スポーツとして実施するニュースポーツに関して、最低限の技能の獲得ができる。 【態度】 積極的にプレーに参加する事ができる。</p>
授業の概要	<p>ドッジビー、ソフトバレーボール、インディアカをとりあげる。毎授業では練習と試合を実施する。個人とグループの諸課題について、1)実践 2)ふりかえり 3)次の課題設定 4)実践というプロセスを繰り返すことによって、個人またはグループの成長プロセスを考える機会とする。</p>
授業計画	<p>第1回 コースオリエンテーション(授業概要、目標、成績評価方法、等) 講義の進め方、注意点、評価方法等の説明を行う。 初回のアイスブレイクとして、全員で楽しめるスポーツを行う。 【事前学習】 体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】 体のケアを行い、次の講義に備える(30分)</p> <p>第2回 ソフトバレーボール：練習、ゲーム 前半はグループに別れて練習を行う。 ゲームにてラリーが楽しめる様に、基礎技能としてチーム毎のパス回しを中心に実施する。</p> <p>第3回 【事前学習】 体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】 体のケアを行い、次の講義に備える(30分) ソフトバレーボール：練習、ゲーム 前半はグループに分かれて練習を行う。 基礎技能としてチーム内でのパス回しの練習を行い、慣れてきたらネットを挟んだラリー形式での練習を行う。</p> <p>第4回 【事前学習】 体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】 体のケアを行い、次の講義に備える(30分) ソフトバレーボール：練習、ゲーム 前半は他チームとネットを挟んだ実践練習を行う。 後半は、評価対象となるリーグ選を行う。</p> <p>第5回 【事前学習】 体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】 体のケアを行い、次の講義に備える(30分) ソフトバレーボール：練習、ゲーム 前半はグループ毎に練習を行う。 後半は、前回の続きとして評価対象となるリーグ戦を行う。</p> <p>第6回 【事前学習】 体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】 体のケアを行い、次の講義に備える(30分) インディアカ：練習、ゲーム 最初は、インディアカになれる練習からスタートする。 最初からラリーではなく、手のひらで掴める様にキャッチボールから始める。</p> <p>第7回 【事前学習】 体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】 体のケアを行い、次の講義に備える(30分) インディアカ：練習、ゲーム キャッチボールができるようになったら、ラリーの練習として、チーム毎のパス回しを行う。 後半は、評価対象となるリーグ選を行う。</p> <p>第8回 【事前学習】 体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】 体のケアを行い、次の講義に備える(30分) インディアカ：練習、ゲーム 前半はグループ毎に練習を行う。 後半は、前回の続きとして評価対象となるリーグ戦を行う。</p> <p>第9回 【事前学習】 体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】 体のケアを行い、次の講義に備える(30分) ドッジビー：練習、ゲーム フリスビーの性質を理解し、確実に狙った方向で投げる事ができる様に対面での練習を行う。</p>

	<p>強く投げる事と、柔らかいドッジビーへの恐怖心を取り除くために、「ガッツ」をチーム毎に実施し、対抗戦を行う。</p> <p>【事前学習】 体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】 体のケアを行い、次の講義に備える(30分)</p> <p>第10回 ドッジビー：練習、ゲーム 前半はグループ毎に練習を行う。 後半からは、評価対象となるリーグ選を行う。</p> <p>【事前学習】 体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】 体のケアを行い、次の講義に備える(30分)</p> <p>第11回 ドッジビー：練習、ゲーム 前半はグループ毎に練習を行う。 後半は、前回の続きとして評価対象となるリーグ戦を行う。</p> <p>【事前学習】 体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】 体のケアを行い、次の講義に備える(30分)</p> <p>第12回 ドッジビー：アルティメット、練習、ゲーム 遠くに投げる事や、フリスビーの性質を理解してカーブなどのスローイングの練習を行う。 アルティメットのルール説明を行い、ルールを覚えるための5分間ほどのミニゲームを実施する。</p> <p>【事前学習】 体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】 体のケアを行い、次の講義に備える(30分)</p> <p>第13回 ドッジビー：アルティメット、練習、ゲーム 評価対象のゲームを実施する前に、ルールの確認と戦略の確認をするための練習試合を行う。 他のチームがゲームを行なっているときは、自分たちのゲームの振り返りや、次のゲームへの戦略を立てる。</p> <p>【事前学習】 体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】 体のケアを行い、次の講義に備える(30分)</p> <p>第14回 ドッジビー：アルティメット、練習、ゲーム 前半はグループ毎に練習を行う。 後半は、評価対象となるリーグ戦を行う。</p> <p>【事前学習】 体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】 体のケアを行い、次の講義に備える(30分)</p> <p>第15回 ドッジビー：アルティメット、練習、ゲーム 前半はグループ毎に練習を行う。 後半は、前回の続きとして評価対象となるリーグ戦を行う。</p> <p>【事前学習】 体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】 体のケアを行い、次の講義に備える(30分)</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="checkbox"/></p> <p>4) 初年次教育 <input type="checkbox"/></p> <p>5) 実践的PBL <input type="checkbox"/></p>
テキスト	特になし
参考書	特になし
評価方法	授業への参加度60点 実技評価40点 計100点による。実技評価は、各種目のゲーム結果とする。
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。</p> <p>成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている</p> <p>優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している</p> <p>良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している</p> <p>可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している</p> <p>不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない</p> <p>欠 (K) — : 出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【 】 1. 建学の精神を理解し、またグローバル世界において平和を構築するために必要な良心と教養力を積極的に身につける意欲をもつ。</p> <p>【 】 2. 情報化社会に対応するために、高い倫理性を備えた情報機器の操作能力を習得する。</p> <p>【○】 3. 専門領域の学びを支える「コア科目」(キリスト教学、表現技法、コンピュータ・リテラシー)をはじめ、人文科学、社会科学等の基礎的な教養を習得することで、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を伸ばす意欲をもつ。</p>
履修上の注意	<p>1) 体育館用のシューズを準備し、運動にふさわしいウェアで参加すること。</p> <p>2) 金属製のピアス、ネックレス、ブレスレット等、人を傷つけ、傷つけられる恐れのあるモノは外すこと。</p> <p>3) その他の注意事項は初回授業時に伝達する。</p>
オフィスアワー	音 野：授業終了後に質問を受け付けます。
課題に対するフィードバック方法	授業中にプレーに対してのアドバイスをを行う。

講義科目名称： チャイルドケア・イングリッシュ

授業コード：

英文科目名称： Childcare English

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前・後期	1年	2単位 (0-2)	選択必修科目 (教養教育外国語系)
担当教員			
山城 莉乃			
授業形態：講義 (遠隔授業になる可能性あり)			
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>The objective of this class is to develop English communication skills increasingly necessary in today's nursery school and preschool/kindergarten working environments. Students wishing to study abroad will also gain valuable knowledge in preparation for their foreign experience trip. Basic medical English is also covered in the class.</p> <p>The class will also be good for those who will be taking Test of English for Early Childhood Educators (Yoho Eiken).</p> <p>[知識・理解の観点]： 保育現場で必要とする基本的な英語コミュニケーションを身につける。 異文化や多様性にふれ、理解や受容を深めることができる。</p> <p>[技能の観点]： 英語の基本的なコミュニケーションを効果的にできる。</p> <p>[態度の観点]： 表現や考え方の違いを尊重し、協調できる。</p>
授業の概要	<p>Everyone will be expected to participate in simple skits, songs, games and lectures, etc. to improve their skills and confidence. This class is designed to be fun, energetic and can work as steppingstone for building in childcare.</p> <p>簡単なスキット(寸劇)、童謡の合唱、ゲームや講義を通して、学生のコミュニケーション能力を向上させ、自信をつける。楽しく活発なクラスになるよう計画されており、保育でのキャリアを構築する為の踏み台ともなりうる。</p>
授業計画	<p>第1回 The Introduction of Childcare English (イントロダクション) なぜ今保育の現場に英語が必要なのか。日本・沖縄を取り囲む国際的環境を知り、保育英語の必要性について資料や画像などを通して学びます。また、簡単な自己紹介について学びます。</p> <p>【事前学習】なし 【事後学習】2時間 自己紹介、日本・沖縄における国際的環境についてのポイントをまとめる。</p> <p>*遠隔授業の場合：Teamsを利用。講義資料等もTeamsに掲載</p> <p>第2回 Learn common Childcare English vocabulary① (保育園や幼稚園でよく使われる英語の語彙を学習する①) 教室、園庭や多目的広場といった園の施設を表す言葉、また園長先生や担任、調理師など園で働く人を表す言葉を学びます。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習し、活用できるようにする。</p> <p>*遠隔授業の場合：Teamsを利用。講義資料等もTeamsに掲載</p> <p>第3回 Learn common Childcare English vocabulary② (保育園や幼稚園でよく使われる英語の語彙を学習する②) 手洗い場や棚、そして絵本やおままごとセットなど、保育室の設備や教具などについての表現を学びます。また、簡単な疑問文とその答え方を練習します。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習し、活用できるようにする。</p> <p>*遠隔授業の場合：Teamsを利用。講義資料等もTeamsに掲載</p> <p>第4回 Time and Numbers, School required supplies (時間と数字の表現、保護者に用意してもらう用品の語彙を学習する) 数字や時間の表現方法を学びます。また、保護者に用意してもらう「うわばき」や「お着替え」、「お布団セット」など保育園や幼稚園でよく使われる語彙の英語での表現について学習します。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習し、活用できるようにする。</p> <p>*遠隔授業の場合：Teamsを利用。講義資料等もTeamsに掲載</p> <p>第5回 Inquire for the way (街の施設について学び、道案内をする) お散歩で目にするスーパーや公園、そして消防署など、街にある様々な場所の名称を覚え、前置詞を使って場所や道順を説明する表現を学びます。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。</p>

第6回	<p>【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習し、活用できるようにする。</p> <p>*遠隔授業の場合：Teamsを利用。講義資料等もTeamsに掲載 Children on the Playground（園庭の環境について、そして子どもたちの遊びについて学ぶ） おにごっこやおままごとといった子どもの遊びと、その動作を表す表現を学びます。また、園庭の砂場やすべり台などの遊具とその遊び方についての表現を学びます。</p>
第7回	<p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習し、活用できるようにする。</p> <p>*遠隔授業の場合：Teamsを利用。講義資料等もTeamsに掲載 中間まとめ これまで学んだことを復習し、実際に活用できるかをチェックする機会とする。</p>
第8回	<p>【事前学習】2時間 これまで学んだことのまとめをする。 【事後学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。</p> <p>*遠隔授業の場合：Teamsを利用。講義資料等もTeamsに掲載 Toilet Dialogue and Fight（昼食風景、子供の排泄に関する表現を学ぶ） 排泄に関する表現や英文での連絡帳でのやりとりや、けんかや物の取り合いをしている子どもたちへの保育者としてのさまざまな言葉がけの表現を学びます。</p>
第9回	<p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習し、活用できるようにする。</p> <p>*遠隔授業の場合：Teamsを利用。講義資料等もTeamsに掲載 Face and body, and Physical condition（体の部位についての語彙と、病気についての表現方法を学ぶ） 体の部位に関する語彙を学び、英語で表現します。元気がなかった、吐き気があった、などの体調を現在完了形を用いて保護者に伝える場面について学びます。また、かすり傷や打撲などのけがや病気についての表現も学びます。</p>
第10回	<p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習し、活用できるようにする。</p> <p>*遠隔授業の場合：Teamsを利用。講義資料等もTeamsに掲載 Jobs at Nursery School（保育者の園での一日の仕事の流れを英語で学ぶ） 保育者の一日の仕事について英語で学びます。Kid's classとToddler's classとの一日の流れの違いについても確認します。</p>
第11回	<p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習し、活用できるようにする。</p> <p>*遠隔授業の場合：Teamsを利用。講義資料等もTeamsに掲載 Japanese recipes in English（給食のメニューの英語表現を学ぶ） 肉じゃがや胡麻和えなど、給食に出される日本食のメニューを英語で学びます。また、好き嫌いに関する表現方法を学び練習します。</p>
第12回	<p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習し、活用できるようにする。</p> <p>*遠隔授業の場合：Teamsを利用。講義資料等もTeamsに掲載 Annual School Calender（年中行事の表現と、連絡帳や園からのお知らせについて学ぶ） 入学式、七夕まつり、運動会などの園行事の英語表現について学びます。また、園からのお知らせの書き方、連絡帳の書き方について学びます。</p>
第13回	<p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習し、活用できるようにする。</p> <p>*遠隔授業の場合：Teamsを利用。講義資料等もTeamsに掲載 Childcare Equipment（教室にある備品や子どもの発達についての英語表現を学ぶ） おむつや哺乳瓶など、乳幼児のための用品について学びます。また、寝返りをうつ、ハイハイするなどの発達に合わせて出てくる乳幼児の動きについての表現を学びます。</p>
第14回	<p>*遠隔授業の場合：Teamsを利用。講義資料等もTeamsに掲載 Memorial day and Family tree（記念日と家族について英語の語彙を学習する） 記念日についての表現について学びます。また、パパやママ、おじいちゃんおばあちゃんといった、家族についての語彙を学びます。</p>

	<p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習し、活用できるようにする。</p> <p>*遠隔授業の場合：Teamsを利用。講義資料等もTeamsに掲載</p> <p>第15回 Travel abroad and Medical Vocabularies (海外渡航に備える) 旅行や海外研修などで使える英語表現や語彙について学びます。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習し、活用できるようにする。</p> <p>*遠隔授業の場合：Teamsを利用。講義資料等もTeamsに掲載</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="checkbox"/></p> <p>4) 初年次教育 <input type="checkbox"/></p> <p>5) 実践的PBL <input type="checkbox"/></p>
テキスト	保育の英会話-Childcare English- 第2版, 赤松直子・久富陽子著, 萌文書林, 2011.
参考書	特になし
評価方法	授業への参加度 (25%)、宿題 (25%)、小テスト (50%) を総合的に評価する。 遠隔授業を実施する場合は、小テストに代わり、レポート等による評価に変更することもあります。
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) -：出席不足</p> <p>*遠隔授業の場合、評価方法を変更するため、ルーブリックについても変更あり。詳細は講義内で説明。</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【○】1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。 【○】2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追求する。 【○】3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。 【○】4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。 【○】5. 学則に定める修業年限を満了し、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。</p>
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスへの参加が最も重要視されるので、欠席しないように。 ・グループや個人での発表は積極的に取り組むこと。 ・正当な理由以外での欠席は認められません。よってそれ以外の欠席は届けなくてもよい。（公欠のみ提出） ・出席状況については各自で確認すること。 ・遠隔授業になった場合、Teamsでのビデオ会議で開催します。開始時間にはPCやスマートフォンで参加できるように準備すること。また、Teamsで提示する資料や課題を必ず確認すること。
オフィスアワー	水曜日の3限 山城研究室 *遠隔授業実施期間においては、メールおよびオンライン面談を行う。面談の設定については、メールで連絡 (rinda@ocjc.ac.jp)
課題に対するフィードバック方法	小テスト・グループワークについては、クラス全体で特に多かった間違いや全体に抑える必要があるポイントを重点的に確認し、返却します。

講義科目名称： 中国語 (Aクラス)

授業コード：

英文科目名称： Chinese

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前・後期	1～2年	2単位(0-2)	選択必修科目 (教養教育外国語系)
担当教員			
王 冬艶			
授業形態：講義 (遠隔授業の可能性あり)	ナンバリング：FLS119202	遠隔授業の可能性あり	
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 初級中国語の習得。</p> <p>【到達目標】 【知識・理解の観点】この授業は中国の標準語である「普通話」の基礎文法を学ぶ。ロールプレイング練習法を通じて基本表現12項目と日常会話12場面の会話を身につける。 【技能の観点】中国語で簡単な日常会話ができる。ホテル業の6場面において中国語で対応できる。 【態度の観点】ホテル現場において、自信を持って中国語でサービスを提供できる。</p>
授業の概要	<p>授業の内容は基本表現と日常会話とホテル業常用中国語に分かれます。すぐに話せるようになるコツを教え、実践的なロールプレイング方式で会話をトレーニングする。異文化を理解しながら、国際的なコミュニケーション能力を高めていく。中国語で自分の考えや意志を表現することを習慣化になるように努力する。</p>
授業計画	<p>第1回 授業概要の説明、中国語の声調、綴り方のピンイン ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配付・演習を行う。 中国語の特徴を教える。数字をトレーニングしながら、声調を習得する。日本語のローマ字の綴り方に照らして、中国語のピンインを学習する。 【事後学習】1-99の数字を練習する。(2時間) ※遠隔授業の場合：講義についての説明をGoogle Classroomに掲載する。 ※遠隔授業の場合：ZOOMにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第2回 ユニット1-1「～は～である」。ユニット1-2「挨拶」。ホテル中国語「1 ホテルの予約」 ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。 中国語の文法「是」文型を学習する。挨拶言葉をロールプレイングする。ホテルの予約に使う言葉を練習する。 【事前学習】授業の内容をCDに従ってシャドーイングする。(2時間) 【事後学習】授業の内容を言いながら書く(正しく書くのはポイント)(2時間)</p> <p>第3回 ユニット1-3「～はどのようなだ」。ユニット1-4「お礼・お詫び」。ホテル中国語「1 ホテルの予約」(復習) 新出単語を覚えるうえで、中国語の文法「形容詞文」を学習する。お礼・お詫びの言葉をロールプレイングする。「ホテルの予約」を復習する。 【事前学習】授業の内容をCDに従ってシャドーイングする。(2時間) 【事後学習】授業の内容を言いながら書く(正しく書くのはポイント)(2時間)</p> <p>第4回 ユニット2-1「～はどのようなだ」。ユニット2-2「尋ねる」。ホテル中国語「2 ホテルへのお問い合わせ」 新出単語を覚え、中国語の文法「感情を表す形容詞文」を学習する。「尋ねる」場面に使う言葉をロールプレイングする。「ホテルへのお問い合わせ」を練習する。 【事前学習】授業の内容をCDに従ってシャドーイングする。(2時間) 【事後学習】授業の内容を言いながら書く(正しく書くのはポイント)(2時間)</p> <p>第5回 ユニット2-3「～を持っている」。ユニット2-4「依頼」。ホテル中国語「2 ホテルへのお問い合わせ」(復習) 新出単語を習得し、存在を表す「有」文型を勉強する。人に依頼する時に使う表現をロールプレイングする。「2 ホテルへのお問い合わせ」を復習する。 【事前学習】授業の内容をCDに従ってシャドーイングする。(2時間) 【事後学習】授業の内容を言いながら書く(正しく書くのはポイント)(2時間)</p> <p>第6回 ユニット3-1「～は～をする」。ユニット3-2「初対面のとき」。ホテル中国語「3 チェックイン」 新出単語を覚え、中国語文法の動詞文を勉強する。初対面の時に使う表現をロールプレイングする。ホテルのチェックイン場面を練習する。 【事前学習】授業の内容をCDに従ってシャドーイングする。(2時間) 【事後学習】授業の内容を言いながら書く(正しく書くのはポイント)(2時間)</p> <p>第7回 ユニット3-3「～は～に来る・行く」。ユニット3-4「空港にて」。ホテル中国語「3 チェックイン」(復習) 新出単語を覚え、中国語文法の連動文を勉強する。空港にてチェックインする時に使う表現をロールプレイングする。ホテルのチェックイン場面を練習する。 【事前学習】授業の内容をCDに従ってシャドーイングする。(2時間) 【事後学習】授業の内容を言いながら書く(正しく書くのはポイント)、自己紹介原稿を準備する。(2時間)</p> <p>第8回 中間会話発表：自己紹介 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsを利用して実施。 習った基本表現を使って自己紹介の原稿を作成する。そして発音練習し、発表する。 【事前学習】自己紹介原稿を作成する。(2時間) 【事後学習】ユニット1からユニット3まで12レッスンを復習する。(2時間)</p> <p>第9回 ユニット4-1「～は～をした」。ユニット4-2「飛行機の中で」。ホテル中国語「4 ルームサービス</p>

	<p>ス」 新出単語を使って、中国語の完了形を練習する。飛行機の中でよく使われる表現を勉強する。ホテル用語「4ルームサービス」をトレーニングする。</p> <p>【事前学習】授業の内容をCDに従ってシャドーイングする。(2時間) 【事後学習】授業の内容を言いながら書く(正しく書くのはポイント)(2時間)</p> <p>第10回 ユニット4-3「～は～をした」。ユニット4-4「入国・税関審査」。ホテル中国語「4ルームサービス」(復習) 新出単語を学習し、中国語の完了形を続けて勉強する。入国・税関審査の場面を練習する。ホテル用語の「4ルームサービス」場面をロールプレイングする。</p> <p>【事前学習】授業の内容をCDに従ってシャドーイングする。(2時間) 【事後学習】授業の内容を言いながら書く(正しく書くのはポイント)(2時間)</p> <p>第11回 ユニット5-1「～はいつ～をする」。ユニット5-2「荷物の受け取り」。ホテル中国語「5食事の予約」 時間詞を覚え、状況語「いつ」の用法を勉強する。空港にて荷物の受け取る時に使う表現を練習する。ホテルの食事予約の場面をロールプレイングする。</p> <p>【事前学習】授業の内容をCDに従ってシャドーイングする。(2時間) 【事後学習】授業の内容を言いながら書く(正しく書くのはポイント)(2時間)</p> <p>第12回 ユニット5-3「～はいつ～をした」。ユニット5-4「空港からの移動」。ホテル中国語「5食事の予約」(復習) 曜日などの表現を覚えて、完了形の状況語を練習する。空港から移動する時に使う表現を勉強する。ホテルの食事予約を復習する。</p> <p>【事前学習】授業の内容をCDに従ってシャドーイングする。(2時間) 【事後学習】授業の内容を言いながら書く(正しく書くのはポイント)(2時間)</p> <p>第13回 ユニット6-1「～にいる」。ユニット6-2「ホテル1」。ホテル中国語「6チェックアウト」 中国語文法の内容を表す「在」を勉強する。一般ホテル用語を勉強する。ホテルのチェックアウト場面をロールプレイングする。</p> <p>【事前学習】授業の内容をCDに従ってシャドーイングする。(2時間) 【事後学習】授業の内容を言いながら書く(正しく書くのはポイント)(2時間)</p> <p>第14回 ユニット6-3「～は～で～をする」。ユニット6-4「ホテル2」。ホテル「6チェックアウト」(復習) 中国語文法の内容を表す状況語を勉強する。一般ホテル用語及びチェックアウト場面を練習する。</p> <p>【事前学習】授業の内容をCDに従ってシャドーイングする。(2時間) 【事後学習】授業の内容を言いながら書く(正しく書くのはポイント)(2時間)</p> <p>第15回 ユニット1からユニット6までの文法まとめ。期末発表の準備。 事前学習：基礎文法をまとめて復習する。(2時間) 事後学習：期末発表原稿作成：ホテルにて一場面の会話。(2時間)</p> <p>第16回 期末試験：中国語会話力発表(ホテルの一場面を選択) ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsを利用して実施。 発表原稿を練習してから、発表する。</p>
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組【プレゼンテーション、グループワーク】 2) 初年次教育【プレゼンなどの技法、学問修得に向けた動機付け】
テキスト	『トーエン式超速マスター中国語』王冬艶開発、旭中国語教室発行(2014年)
参考書	中日辞典など
評価方法	①中間、期末にロールプレイング式で会話力発表(80点) ②予習、復習、書き取り練習などの学習態度(20点)
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀(A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優(B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良(C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可(D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可(F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠(K) —：出席不足 ※遠隔授業の場合、評価方法の変更により、ルーブリックにも変更がある。詳細は講義内で説明する。
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【】1. 建学の精神を理解し、またグローバル世界において平和を構築するために必要な良心と教養力を積極的に身につける意欲をもつ。 【】2. 情報化社会に対応するために、高い倫理性を備えた情報機器の操作能力を習得する。 【○】3. 専門領域の学びを支える「コア科目」(キリスト教学、表現技法、コンピュータ・リテラシー)をはじめ、人文科学、社会科学等の基礎的な教養を習得することで、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を伸ばす意欲をもつ。
履修上の注意	相互(学生⇄教師、学生⇄学生)の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。 ※遠隔授業の場合、Microsoft Teams等で提示する資料や課題を必ず確認すること。同時双方向型授業を実施する回は、授業開始時にはスマートフォンやPCで参加できるよう準備すること。
オフィスアワー	※遠隔授業実施期間においては、メールで対応する。 非常勤講師メールアドレス：asahichineseotoen197021@yahoo.co.jp
課題に対するフィードバック方	授業中逐次フィードバックする。

講義科目名称： 韓国語

授業コード：

英文科目名称： Korean

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	1～2年	2単位(0-2)	選択必修科目(教養教育外国語系)
担当教員			
李 春花			
授業形態：演習	ナンバリング：FLS119203		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>[テーマ] 韓国語の基礎と韓国文化へのアプローチ</p> <p>[到達目標] 知識・理解：ハングル文字の仕組みと優しい日常会話の簡単な文法について説明し、正確な音読と書きができる。 技能表現：自己紹介などの簡単な会話能力を身に着ける。 態度：グローバルな視点を養い、将来様々な形で国際的交流に協調できる、専門性・責任意識を持てる。</p>
授業の概要	<p>本授業では、ハングル文字の仕組みと優しい日常会話の簡単な文法について理解し、正確な文字の音読と書きを修得してもらう。また韓国語の語順は初めての学習者でもわかりやすく、DVDやインターネットの活用により、韓国の歌やドラマ及び映画などを通じて韓国語のみならず韓国の文化と歴史を楽しんでもらう。さらに異文化コミュニケーションの取り方とグローバルな視野を身に着け、21世紀の地域やグローバルな世界での様々な形の協調力を発揮してもらう。</p>
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション／韓国を知る・ことばの特徴・ハングル文字 韓国を知るDVD『子犬の糞』の鑑賞を行う。韓国の歴史と文化と共に歩んできた韓国語のことばの特徴・ハングル文字の背景と仕組みについての紹介を行う。</p> <p>【事前学習】テキストpp. ix-xiの韓国語のことばの特徴・ハングル文字の背景と仕組みについて調べる。(2時間) 【事後学習】韓国語のことばの特徴・ハングル文字の背景と仕組みについての理解・知識を習得する。(2時間)</p> <p>第2回 テキスト第1課 簡単な挨拶表現／文法—基本母音／歌の学習 簡単な挨拶表現の会話文と一般的な自己紹介の仕方や、《ハムニダ体とヘヨ体の違い》について紹介し、ペアでその会話文を発音してもらう。ハングル文字の基本母音8つとその文法の説明を行い、日常生活の単語を発音してもらう。韓国の歌『アリラン』のMVを紹介し、韓国語で歌ってもらう。</p> <p>【事前学習】テキストpp. 2-3のskit, p. 4の基本母音とその単語をテキスト付CDで聴きながら発音や抑揚を予習する。(1時間) 【事後学習】テキストpp. 2-3のskit, p. 4の基本母音とその単語を発音しながら正確に書き写す課題を提出する。韓国文化についての主題例から一つ選んで、異文化コミュニケーションへの提言のために資料を調べる。(3時間)</p> <p>第3回 テキスト第2課 初対面の挨拶表現／文法—基本子音・や行母音／歌の学習 初対面の挨拶表現の会話文や《敬語の遣い分け》についての歴史的文化的背景の紹介を行い、ペアでその会話文を発音してもらう。ハングル文字の基本子音9つの文字、その名称や発音と、母音(や行音)6つの文字とその発音の読み書きについての文法の説明を行い、日常生活の単語を発音してもらう。韓国の伝来民謡『アリラン』、韓国の童謡『熊三匹』のMVを紹介し、韓国語で読み歌ってもらう。</p> <p>【事前学習】テキストpp. 8-9のskit, pp. 10-11の基本子音と母音(や行音)とその単語をテキスト付CDで聴きながら発音や抑揚を予習する。(1時間) 【事後学習】テキストpp. 8-9のskit, pp. 10-11の基本母音とその単語を発音しながら正確に書き写す課題を提出する。韓国文化についての主題例から一つ選んで、異文化コミュニケーションへの提言のために資料を調べる。(3時間)</p> <p>第4回 テキスト第3課 別れの挨拶表現／文法—子音(激音と濃音)・わ行母音／歌の学習 「立ち去る人」と「居残る人」に遣い分ける別れの挨拶表現の会話文や、《日本語話者にとって語彙を増やしやす漢字語》についての紹介を行い、ペアでその会話文と単語を発音してもらう。ハングル文字の子音(激音5つと濃音5つ)の文字、その名称や発音と、母音(わ行音)7つの文字、その発音と読み書きについての文法の説明を行い、日常生活の単語を発音してもらう。韓国の童謡『頭、肩、膝、足』のMVを紹介し、韓国語で読み歌ってもらう。</p> <p>【事前学習】テキストpp. 14-15のskit, p. 15のpoint, pp. 16-17の子音(激音と濃音)と母音(わ行音)とその単語をテキスト付CDで聴きながら発音や抑揚を予習する。(1時間) 【事後学習】テキストpp. 14-15のskit, p. 15のpoint, pp. 16-17の子音(激音と濃音)と母音(わ行音)とその単語を発音しながら正確に書き写す課題を提出する。韓国文化についての主題から異文化コミュニケーションへの提言のためにクリティカル・シンキングをしながら資料をまとめる。(3時間)</p> <p>第5回 テキスト第4課 感謝の挨拶表現／文法—終声(パッチム)／歌の学習 感謝の挨拶表現の会話文や《日常でよく使う単語》についての紹介を行い、ペアでその会話文と単語を発音してもらう。ハングル文字の子音の代表終声(パッチム)の7つの文字、その発音や</p>

名称の読み書きについての文法の説明を行い、日常生活の単語を発音してもらおう。韓国の童謡『サメの家族』のMVを紹介し、韓国語で読み歌ってもらおう。

【事前学習】テキストpp. 20-21のskit, p. 21のpoint, pp. 22-23の子音の代表終声（パッチム）とその単語、p24の単語をテキスト付CDで聴きながら発音や抑揚を予習する。（1時間）
【事後学習】テキストpp. 20-21のskit, p. 21のpoint, pp. 22-23の子音の代表終声（パッチム）とその単語、日常生活の単語を発音しながら正確に書き写す課題を提出する。韓国文化についての主題から異文化コミュニケーションへの提言のためにクリティカル・シンキングをしながら資料をまとめる。（3時間）

第6回

テキスト第5課 謝罪の挨拶表現／文法—発音の変化

謝罪の挨拶表現の会話文についての紹介を行い、ペアでその会話文と単語を発音してもらおう。ハングル文字の発音変化の規則8つ（有声音化、連音化、濃音化、激音化、鼻音化、ヒウト弱化、流音化、ニウン挿入）についての文法の説明を行い、その用例の単語を発音してもらおう。

【事前学習】テキストpp. 26-27のskit, p. 27のpoint, pp. 28-30の発音変化の規則にある単語をテキスト付CDで聴きながら発音や抑揚を予習する。（1時間）

【事後学習】テキストpp. 26-27のskit, p. 27のpoint, pp. 28-30の発音変化の規則にある単語を発音しながら正確に書き写す課題を提出する。発音変化の規則についての理解を深める。韓国文化についての主題から異文化コミュニケーションへの提言のためにクリティカル・シンキングをしながら資料をまとめる。（3時間）

第7回

テキスト第6課 自己紹介の会話／指定詞のハムニダ体とヘヨ体／歌の学習

プリント配分の初対面の挨拶表現と自己紹介をまとめた会話文や、《ハングルによる日本語表記法》についての紹介を行い、ペアでその会話文と単語を発音してもらおう。その会話文に基づいて指定詞〈～だ〉のハムニダ体とヘヨ体の平叙形〈～です〉と疑問形〈～ですか〉などの文法についての説明を行い、会話文を作ってもらおう。韓国の歌『君は愛されるため生まれた』のMVを紹介し、韓国語で読み歌ってもらおう。

【事前学習】テキストpp. 32-33のskitをテキスト付CDで聴きながら発音や抑揚を予習する。（1時間）

【事後学習】テキストp. 31の《ハングルによる日本語表記法》とプリント配分の《初対面の挨拶表現と自己紹介をまとめた会話文》を正確に音読しながら、書き写し、テキストp. 36の練習問題を解答する課題を提出する。韓国文化についての主題から異文化コミュニケーションへの提言文を提出する。（3時間）

第8回

テキスト第7課 お住まいの会話／指定詞の否定形のハムニダ体とヘヨ体

プリント配分のまとめの配分のお住まいの会話文や疑問詞6つの用例についての紹介を行い、ペアでその会話文と用例を発音してもらおう。その会話文に基づいて指定詞の否定形〈～ではない〉のハムニダ体とヘヨ体の平叙形〈～です〉と疑問形〈～ですか〉などの文法や、《分かち書き》についての説明を行い、会話文を作ってもらおう。K-popのMVを鑑賞しながら、韓国語で歌ってもらおう。

【事前学習】テキストpp. 38-39のskit, p. 39のpointをテキスト付CDで聴きながら発音や抑揚を予習する。（1時間）

【事後学習】テキストp. 39のpointとPPTの《お住まいの会話文》を正確に音読しながら、書き写し、テキストp. 42の練習問題を解答する課題を提出する。（3時間）

第9回

テキスト第8課 趣味の会話表現／形容詞や動詞のハムニダ体（改まりの上称形）、異文化コミュニケーションへの提言文の紹介と意見交換 ※遠隔授業の場合、授業で使うオンラインツールは大学メールにてお知らせする。

プリント配分の趣味の会話文や《趣味をあらわす単語》について紹介し、ペアでその会話文と単語を発音してもらおう。その会話文に基づいて形容詞や動詞のハムニダ体〈～です／～ます〉の平叙形〈～です〉と疑問形〈～ですか〉などの文法や《姓名と人名表記》についての説明を行い、会話文を作ってもらおう。

学生の異文化コミュニケーションへの提言文を選んで紹介し、感想や意見を述べてもらおう。K-popのMVを鑑賞しながら、韓国語で歌ってもらおう。

【事前学習】テキストpp. 44-45のskit, p. 45のpointをテキスト付CDで聴きながら発音や抑揚を予習する。（1時間）

【事後学習】テキストp. 45のpointとPPTの《趣味の会話文や趣味をあらわす単語》を正確に音読しながら、書き写し、テキストp. 48-49の練習問題を解答する課題を提出する。（3時間）

第10回

テキスト第9課 まとめ会話表現（1）／漢数字の用例、異文化コミュニケーションへの提言文の紹介と意見交換

プリント配分の《まとめの会話文（1）》について紹介し、ペアでその会話文を発音してもらおう。《漢数字やその数え方などの用例》についての説明を行い、会話文を作ってもらおう。

韓国ドラマのDVDを鑑賞しながら、会話を聞いてもらおう。学生の異文化コミュニケーションへの提言文を選んで紹介し、感想や意見を述べてもらおう。

【事前学習】テキストpp. 50-51のskit, p. 51のpointをテキスト付CDで聴きながら発音や抑揚を予習する。（1時間）

【事後学習】プリント配分の《まとめの会話文（1）》を正確に音読しながら授業内口頭試験に備える。テキストp. 52-53の《漢数字やその数え方などの用例》を正確に音読しながら書き写し、テキストp. 54の練習問題を解答する課題を提出する。（3時間）

第11回

テキスト第10課 まとめ会話表現（2）／固有数字の用例、異文化コミュニケーションへの提言文の紹介と意見交換

プリント配分の《まとめの会話文（2）》について紹介し、ペアでその会話文を発音してもらおう。《固有数字やその表し方などの文法》についての説明を行い、会話文を作ってもらおう。

韓国ドラマのDVDを鑑賞しながら、会話を聞いてもらおう。学生の異文化コミュニケーションへの提言文を選んで紹介し、感想や意見を述べてもらおう。

第12回	<p>【事前学習】プリント配分の《まとめの会話文(1)》を正確に音読しながら授業内口頭試験に備える。テキストpp. 56-57のskit, p. 57のpoint, pp. 58-59の《固有数詞やその表し方》をテキスト付CDで聴きながら発音や抑揚を予習する。(1時間)</p> <p>【事後学習】プリント配分の《まとめの会話文(2)》を正確に音読しながら授業内口頭試験に備える。テキストp. 54の練習問題を解答する課題を提出する。</p> <p>まとめ・授業内口頭試験(会話)</p> <p>プリント配分のまとめの会話文(1)(2)をもとに口頭試験として先生と学生の対面で聞いて話してもらう。ただし、その口頭試験を待つ学生や終わった学生にはプリント配分のシートワークを書いてもらう。</p>
第13回	<p>【事前学習】プリント配分の《まとめの会話文(1)(2)》を正確に音読しながら授業内口頭試験に備える。(3時間)</p> <p>【事後学習】プリント配分のシートワークの課題を提出する。(1時間)</p> <p>まとめ・授業内口頭試験(会話)、復習や授業についてのまとめと意見交換</p> <p>プリント配分のまとめの会話文(1)(2)をもとに口頭試験として先生と学生の対面で聞いて話してもらう。ただし、その口頭試験を待つ学生や終わった学生にはプリント配分のシートワークを書いてもらう。授業内で学んだハングル文字、会話文を読み書く復習をしてもらう。韓国語を学んでの感想や授業についての意見を述べてもらう。</p>
第14回	<p>【事前学習】プリント配分の《まとめの会話文(1)(2)》を正確に音読しながら授業内口頭試験に備える。(3時間)</p> <p>【事後学習】プリント配分のシートワークの課題を提出する。(1時間)</p> <p>韓国映画鑑賞および意見交換(前編)</p> <p>韓国映画を鑑賞しながら、歴史的文化的背景についてのコメントを行い、共感してもらう。映画鑑賞後、その感想や意見を述べてもらう。</p> <p>【事前学習】授業内で学んだハングル文字、会話文を読み書く復習を行い、定期試験に備える。(2時間)</p> <p>【事後学習】授業内で学んだハングル文字、会話文を読み書く復習を行い、定期試験に備える。(2時間)</p>
第15回	<p>韓国映画鑑賞および意見交換(後編)</p> <p>韓国映画を鑑賞しながら、歴史的文化的背景についてのコメントを行い、共感してもらう。映画鑑賞後、その感想や意見を述べてもらう。</p>
第16回	<p>【事前学習】授業内で学んだハングル文字、会話文を読み書く復習を行い、定期試験に備える。(2時間)</p> <p>【事後学習】授業内で学んだハングル文字、会話文を読み書く復習を行い、定期試験に備える。(2時間)</p> <p>定期試験(筆記:ハングル文字、韓国語の読み書き)</p> <p>プリント配分の終業日の会話文についての紹介を行い、ペアでその会話文を発音してもらう。その会話文に基づいて過去形についての文法の説明を行い、会話文を作ってもらう。</p> <p>筆記テストとしてハングル文字、韓国語の単語、日常生活の会話文を日本語で、あるいは日本語の単語、日常生活の会話文を韓国語で読み書きしてもらう。</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="checkbox"/></p> <p>4) 初年次教育 <input type="checkbox"/></p> <p>5) 実践的PBL <input type="checkbox"/></p>
テキスト	姜英淑外5人著『楽しく学ぶ ハングル1』白帝社、2008年初版
参考書	金順玉・阪堂千津子著『最新チャレンジ!韓国語』白水社、2014年初版 木内明著『基礎から学ぶ 韓国語講座 初級』国書刊行会、2008年初版 参考資料は授業中に配付する
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 20% (筆記:ハングル文字、韓国語の読み書き) ・授業内試験 20% (口頭:自己紹介等の会話) ・課題 20% (ハングルと会話文に関する事後学習) ・授業外レポート 20% (韓国文化について、異文化コミュニケーションのための提言文) ・授業への参加度 20% (アクティブ・ラーニング、私語等減点)
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p><input type="checkbox"/> 1. 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 多文化・異文化に関する理解と国際的な視野を身につけている。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」、「知識・技能」をはじめ社会人にふさわしい教養および専門分野の基礎力と批判的思考力を身につけている。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士(英語)の学位を授与する。</p>
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に発音練習、ペアワーク、提言文への感想や意見交換などに積極的に参加すること。 ・事前学習と事後学習を徹底すること。 ・大学メールで提示する資料や課題を必ず確認すること。 ・授業内容の変更がある場合がある。
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ・授業終了後、教室で質問の受け付けをする。 ・メールで質問に答える。(メールアドレスは、初回授業でお知らせします)
課題に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題及び授業外レポートは評価後、授業内でその都度返却する。

講義科目名称： スペイン語

授業コード：

英文科目名称： Spanish

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	2年	2単位(0-2)	選択必修科目(教養教育外国語系)
担当教員			
又吉 パトリシア			
授業形態：演習(遠隔授業の可能性あり)	ナンバリング：FLS119201		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】：スペイン語の初級文法の習得とスペイン語圏の世界を知る。</p> <p>【到達目標】</p> <p>① 知識・理解の観点：「スペイン語の基礎的な知識をみにつけ、簡単な文と作文を書けることができる」</p> <p>② 技能の観点：「口頭で受け答えに慣れ、会話や自己紹介などを発表ができる」</p> <p>③ 態度の観点：「スペイン語圏の国々と沖縄の事情及び文化などをに関する入門的な知識を学び、異文化理解を深めるために協調できる」</p>
授業の概要	<p>世界のスペイン語を話す人口は現在およそ5億人以上といわれ、スペインだけでなくラテンアメリカの19の国々でも公用語として使用されている。特に沖縄県では多くの移民を中南米へ送り出したという歴史的な理由から、今日でも経済的、文化的な交流が活発に行われている状況にある。講義では教科書だけではなく、副教材として歌や映像などを使って、スペイン語圏の世界を紹介する。</p>
授業計画	<p>第1回</p> <p>iBienvenidos al mundo del español! スペイン語の世界へようこそ! ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。</p> <p>① オリエンテーション：授業の進め方、注意点と評価法の説明する。</p> <p>② QUIZで世界におけるスペイン語、スペイン語圏の国々、沖縄と中南米諸国との関係を学習する。</p> <p>【事前学習】シラバスと授業ルーブリックをよく読む。スペイン語の特徴を調べる。(2時間)</p> <p>【事後学習】テキストのpp. 58-59スペイン語圏の国々と首都のスペイン語の読み方またそれぞれの国の位置と国旗も暗記する。(2時間)</p> <p>第2回</p> <p>El alfabeto y la pronunciación del español スペイン語のアルファベットと発音(Introducción) ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。</p> <p>① スペイン語のアルファベットを覚える。(p. 7)</p> <p>② スペイン語の綴りを見て、正しく発音をとイントネーションを身に着ける。(pp. 7-9)</p> <p>③ スペイン語のアクセントのルールを学ぶ。(p. 9)</p> <p>【事前学習】スペイン語のアルファベットと発音についてインターネットで調べる。テキストのpp. 7-9の単語の読み方を考え、音読する。(2時間)</p> <p>【事後学習】スペイン語のアルファベットと発音について復習する。テキストのp. 9の練習問題を解く。(2時間)</p> <p>第3回</p> <p>Saludos y frases básicas あいさつと基本表現 ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。</p> <p>① 前回授業で学んだスペイン語の発音とイントネーションに注意しながら教室内と日常生活で使う基本表現を覚える。(p. 6)</p> <p>② ペアであいさつの会話練習する。(p. 6)</p> <p>【事前学習】テキストのp. 6を予習する。インターネットでスペイン語のあいさつと基本表現の動画をみて声を出しながら一緒に練習する。(2時間)</p> <p>【事後学習】クラスメイトとできるだけスペイン語であいさつを交わす練習する。スペイン語のアルファベット、発音、アクセントのルールとあいさつを暗記する。(2時間)</p> <p>第4回</p> <p>① テスト1 ② ¿De dónde eres? 君はどこ出身ですか? (Lección 1) ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。</p> <p>① テスト1(アルファベット、発音、アクセントと基本表現)</p> <p>② 主格人称名詞を覚える (p. 10)</p> <p>③ 英語のBE動詞をと比べながらスペイン語のSER動詞の使い方と活用に慣れるようになる。(p. 10)</p> <p>④ 自己紹介を言う又相手を紹介する(SER動詞+名前、国と国籍、職業)(pp. 10-13)</p> <p>【事前学習】アルファベット、発音、アクセントと基本表現のテストのため勉強する。(テキストpp. 6-9とpp. 58-59) (2時間)</p> <p>【事後学習】テキストのp. 10の主格人称名詞とSER動詞の活用を声を出しながら暗記する。</p>

テキストのpp. 94-112の語彙集から国籍と職業に関する単語を探し、ノートにリストを作成をする。

インターネットで有名人の写真を探し、スペイン語で紹介を言えるように準備する。(2時間)

第5回

Un café y dos churros, por favor. コーヒとチュエロス2本を下さい。(Lección 2) ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。

- ① スペイン語の名詞の性の区別を見分ける。(p. 14)
- ② 名詞の複数形の作り方を学ぶ。(p. 14)
- ③ 名詞の定冠詞と不定冠詞の作り方と使い方の違いを学ぶ。(p. 14)
- ④ 数字0～15覚える。(p. 74)
- ⑤ バル、レストラン、お店等での注文の会話練習する。

【事前学習】テキストのpp. 94-112の語彙集から食べ物と飲み物に関する単語を探し、性別に分けてのリストを作成する。
インターネットでスペインバルのメニューを調べる。(2時間)

【事後学習】テキストのp. 16の練習1-3を解く。名詞の性と数をインターネットで調べて予習する。
数字0～15を暗記する。(テキストのp. 74) (2時間)

第6回

¿Dónde está la universidad? 大学はどこにありますか？(Lección 2) ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。

- ① ESTAR動詞の直接法現在形の活用を覚える。(p. 14)
- ② 場所を表す単語、お店や公共施設などの語彙を覚える。(pp. 14と17)
- ③ 場所を尋ねたら説明するの会話練習する。(pp. 14と17)

【事前学習】テキストのp. 14のESTAR動詞の活用を声を出しながら暗記する。(2時間)
テキストのp. 17の練習2にあるお店と公共施設の意味、発音と性の区別を調べる。(2時間)

【事後学習】テキストのp. 16の練習4-6を解く。
テキストのpp. 14-17を復習する。(2時間)

第7回

¿Qué hay cerca de la universidad? 大学の近くに何がありますか？(Lección 2) ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。

- ① 存在を表す：HAY動詞を使って練習する。(p. 17)
- ② ESTAR動詞(所在)とHAY動詞(存在)の使い分けを学ぶ。(pp. 14-17)

【事前学習】テキストのp. 17の練習3の語彙の発音、意味、性の区別を調べる。(2時間)

【事後学習】ESTAR動詞とHAYの使い分けをインターネットの動画を見て確認する。(2時間)

第8回

① テスト2 (Lección 1 y 2) ② ¿Qué fecha es hoy? 今日の日付は何ですか？ ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。

- ① テスト2 (Lección 1 y 2: pp. 10-17)
- ② 数字：16～100、曜日、月の語彙を覚える。(p. 74)
- ③ 日付、誕生日、電話番号などを尋ねる会話練習する。

【事前学習】Lección 1と2をテストのために予習する。(テキストのpp. 10-17) (2時間)

【事後学習】数字16～100、曜日、月の語彙を暗記する。(テキストのp. 74)
日付、誕生日、電話番号などを口頭で言えるように練習する。(2時間)

第9回

iQué dulce y rico! 何と甘くておいしい！ ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。

- ① 性格や品質表す形容詞を覚える。(p. 18)
- ② 形容詞の位置と名詞の性数に合わせての変化の仕方を学ぶ。(p. 18とp. 20)
- ③ 簡単な感嘆文や物・人の特徴などを述べる表現の会話練習する。

【事前学習】テキストのp. 18の2と3の形容詞の意味を調べる。SER動詞とESTAR動詞の活用を復習する。
テキストのp. 30の3の感嘆文の作り方を覚える。(2時間)

【事後学習】テキストのp. 20の練習問題を解く。SER動詞とESTAR動詞をインターネットで調べ、使い分けを確認する。
人や物の紹介を口頭で言えるように練習する。(2時間)

第10回

La habitación es pequeña pero está ordenada. 部屋は小さいけど整頓されている。 ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。

- ① SER動詞とESTARの活用うを復習する。(p. 18)
- ② SER動詞(性質)とESTAR動詞(一時的な状態)の使い分けを学ぶ。(pp. 18-21)違いと使い分けを学ぶ。(pp. 18-21)

第11回	<p>【事前学習】テキストのpp. 18-21の単語と表現を復習する。 テキストのp. 21の練習を予習する。(2時間)</p> <p>【事後学習】SER動詞、ESTAR動詞動詞とHAYを使って例文15文を書いて、次の講義に提出する。(2時間)</p> <p>¿Cómo es tu ciudad? あなたが住んでいる町はどんな街ですか? ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。</p> <p>① SER動詞、ESTAR動詞とHAY動詞の使い分けの再確認</p> <p>② 所有形容詞と名詞の性と数に合わせての変化を学ぶ。(p. 72)</p> <p>③ 家族のに関する語彙を覚える。(プリント)</p> <p>④ 人や場所などの説明する会話をする。(p. 21とプリント)</p> <p>【事前学習】インターネットで所有形容詞について調べ、テキストのp. 72の表を見て覚える。 テキストのpp. 94-112の語彙集から家族に関する単語を探し、ノートにリストを作成する。(2時間)</p>
第12回	<p>【事後学習】家族の紹介を口頭で言えるように練習する。(2時間)</p> <p>① テスト3 (Lección 3) ②¿Qué estudias en la universidad? 大学で何を勉強していますか? ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。</p> <p>① テスト3 (Lección 3: SER, ESTARとHAY動詞、形容詞、所有形容詞) (pp. 18-21とp. 72)</p> <p>② -ar動詞の直説法現在形の活用を覚える。(p. 22とp. 24)</p> <p>③ -ar動詞を使って相手に質問する練習する。(p. 25)</p> <p>【事前学習】Lección 3: SER, ESTARとHAY動詞、形容詞、所有形容詞 (テキストのpp. 18-21とp. 72)のテストのために復習する。(2時間)</p> <p>【事後学習】テキストのp. 22の-ar動詞の意味、書き方と活用を覚える。 テキストのp. 22の前置詞の意味と使い分けを覚える。 テキストのp. 24の練習1-3の練習問題を解く。(2時間)</p>
第13回	<p>Mi familia vive en la Isla de Kumejima. 私の家族は久米島に住んでいます。 ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。</p> <p>① 前回の授業で学んだ-ar動詞の直説法現在形の活用を確認する。(pp. 22-25)</p> <p>② -er動詞と-ir動詞の直説法現在形の活用法覚える。(pp. 26-28)</p> <p>③ 前置詞を学び、短い文を書き練習する。(p. 22とプリント)</p> <p>④ 日常生活や家族などについて尋ねる会話練習をする。(プリント)</p> <p>【事前学習】テキストのp. 73の疑問視を覚える。 テキストのpp. 94-112の語彙集から言語に関する単語を探し、リストを作成する。 テキストのp. 26の-er動詞と-ir動詞の意味、書き方と活用を覚える。(2時間)</p> <p>【事後学習】テキストのp. 28の練習1-4の練習問題を解く。(2時間)</p>
第14回	<p>Estudiamos español en la universidad los miércoles. 毎週水曜日大学でスペイン語を勉強します。 ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。</p> <p>① -ar動詞、-er動詞と-ir動詞の直説法現在形の活用を確認する。(pp. 26～29)</p> <p>② 学んだ文法項目、語彙を使ってスペイン語で日常生活について作文を書く。</p> <p>【事前学習】規則動詞の活用を声を出して覚える。 規則動詞を使って簡単な質問と答えの練習する。(2時間)</p> <p>【事後学習】Lección1-5で学んだ文法項目また語彙を使って自己紹介また家族の紹介を作文 (20文) 書いて提出する。 口頭テストのための準備をする。(2時間)</p>
第15回	<p>① Examen de conversación 会話テスト ② Repaso 復習 ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。</p> <p>① 授業で学んだ文法項目、語彙などを使ってペアで会話する。</p> <p>② Lecciones 4と5の文法項目や語彙の復習練習する。(pp. 22-29)</p> <p>③ テキストのpp. 68-71のスペイン語検定試験6級の対策問題を解く。</p> <p>【事前学習】口頭テストのための予習する。 Lecciones 4と5 (テキストのpp. 22-29)の復習する。(2時間)</p> <p>【事後学習】期末テストのために準備する。(2時間)</p>
第16回	<p>期末試験 (Lecciones 4 y 5) ※遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施。 Lecciones 4と5のテスト (-ar動詞、-er動詞と-ir動詞の直説法現在形の活用 pp. 22-29)</p>

授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/> 2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/> 3) ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 4) 初年次教育 <input type="checkbox"/> 5) 実践的PBL <input type="checkbox"/>
テキスト	1. 『OKINAWA LATINA』スペイン語への架け橋 (沖縄県スペイン語教材開発研究会) (1,000円) 著者: 小波津フェルナンド、尚真貴子、福地恭子、又吉パトリシア 発行: 沖縄国際大学 発行年月日: 2012年3月15日 発行・印刷: 文進印刷株式会社 ISBN978-4-904777-14-5C1087
参考書	1. 講師作成資料 2. インターネットでスペイン語に関するHP、画像、映像などを検索し、勉強の参考や復習にする。 3. 「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社(¥2,800)、またはスペイン語電子辞書
評価方法	最終評価は次の点の合計点とする: 1. 筆記テスト4回とQuiz(60%) ※遠隔授業の場合: 筆記試験とQUIZが「Microsoft Forms」に変更して実施する。 2. 会話テスト(10%) ※遠隔授業の場合: 同時双方向型授業内で実施する。 3. 宿題及び課題の提出 (20%) 4. 授業態度と参加 (10%)
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上: 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点~90点未満: 到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点~80点未満: 到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点~70点未満: 到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満: 到達目標を達成していない 欠 (K) - : 出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<input type="checkbox"/> 1. 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 <input type="checkbox"/> 2. 多文化・異文化に関する理解と国際的な視野を身につけている。 <input type="checkbox"/> 3. 「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」、「知識・技能」をはじめ社会人にふさわしい 教養および専門分野の基礎力と批判的思考力を身につけている。 <input type="checkbox"/> 4. 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 <input type="checkbox"/> 5. 学則に定める修業年限を満了し、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士(英語)の 学位を授与する。
履修上の注意	1. ノート、筆記用具、テキストと出席表を毎回持参すること。 2. 配布されたプリント、資料を大事にファイルすること。 3. 毎回QUIZまた小テストを実施するため宿題、予習、復習等をこなすこと。 4. 授業中はマナーを守ること(許可なしで携帯電話・スマートフォン、タブレット等の使用禁止、遅刻しないこと、居眠りと飲食の禁止など) 5. 授業総時間数の1/3(5回)以上欠席した場合は単位を与えない。 6. その他は最初の授業のオリエンテーションで説明する。 ※遠隔授業の場合、Microsoft Teams等で提示する資料や課題を必ず確認すること。 同時双方向型授業を実施する回は、授業開始時にはスマートフォンやPCで参加できるよう準備すること。
オフィスアワー	質問・相談などは、授業終了後に行う。 ※遠隔授業実施期間においては、メールおよびオンライン面談を行う。 メール: profespanyol@ocjc.ac.jp
課題に対するフィードバック方法	授業内で行う。 ※遠隔授業実施期間においては、メールおよびオンライン面談を行う。

講義科目名称： コンピュータリテラシー

授業コード：

英文科目名称： Computer Literacy

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期/後期	1年	2単位(0-2)	必修科目 (教養教育)
担当教員			
内間 清晴			
授業形態：演習 遠隔授業の可能性あり	ナンバリング：ITL111301		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>PCの基礎的操作方法を習得させる。具体的にはワープロによる文章の作成、表計算ソフトによる数値情報の分析方法等が実践的に修得できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 基本的な情報倫理が理解でき、情報化社会へ倫理感を持って参加できる。 (2) 電子メールの送受信・転送設定等ができる。 (3) 150字以上/1分間のタイピング能力を身につけることができる。 (4) インターネットを活用し、基礎的な情報収集ができる。 (5) ワープロによる文章の作成ができる。 (6) 表計算ソフトによる数値情報の分析ができる。
授業の概要	<p>① 本授業では、ワープロソフト、表計算ソフトに実際に触れながら、各ソフトウェアの操作方法を修得する。授業内容は、文書の作成、基本的なデータの集計などを行う実技形式での授業となる。ソフトウェアとしては、Microsoft社のワープロソフトであるWord、表計算ソフトであるExcelを使用する。</p> <p>② 早くて確実な文字入力ができるように。毎授業の最初の10分間はタイピングソフトを使用し、タイピングの練習を行う。(トータルで3時間以上のタイピング練習を行い、1分間で150文字以上の入力速度を目標に取り組んで下さい。)</p> <p>* 毎回の演習内容を復習し次回の演習の予習を行う。(15回分の講義内容はILASを通して配布いたします。)</p> <p>* 各講義の初めに、プロジェクターを使用し、講義内容の説明を行う。</p> <p>* 講義時において、教師と学生の双方向(1対1)にコミュニケーションができるコールシステムを使用し、学生の質問に答える。</p>
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション：①使用登録・パスワードの設定 ②電子メールの設定 ③Windowsの基本操作 ④基本的な情報倫理 ⑤タイピング</p> <p>① PC(パーソナルコンピュータ)へのログイン、パスワードの設定方法、電子メールの使用の方法、PCのOS(オペレーティングシステム)であるWindowsの基本操作、WordやExcel等のソフトウェア、デスクトップ、プリンター等のハードウェア、インターネットでの検索方法を学ぶ。また、情報が氾濫する現代社会における基本的な情報倫理について学習する。</p> <p>② 文字入力が早く確実に行えるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>第2回 パソコンの概念：①OSの種類 ②ソフトウェアとハードウェア ③フォルダの作成 ④基本的な文書作成</p> <p>① 文字入力が早く確実に行えるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② WindowsやMac(マッキントッシュ)等のOS(オペレーティングシステム)の種類、WordやExcel等のソフトウェア、デスクトップやプリンター等のハードウェアについて学ぶ。また、メモ帳を利用して基本的な文書を作成し、学生各自のUSB内に作成したフォルダへの保存方法を学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>第3回 Word2016：①Wordの基本操作 ②文章の作成および保存 ③ファイルの種類</p> <p>① 文字入力が早く確実に行えるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② Word2016を起動させ、ページレイアウトを設定し文書を作成する。作成した文書のいろいろな保存方法およびファイルの種類を表す拡張子について学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p>

第4回	<p>Word2016：文字のデザイン</p> <p>① 文字入力が早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② 入力した文書を見やすくするためのフォントサイズの変更、カラーおよびスタイルの変更、文字列の変更、文字の下線、網かけ、段落番号、行間の設定等について学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p>
第5回	<p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>Word2016：ビジュアル要素の設定(チラシ作成)</p> <p>① 文字入力が早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② 基本デザイン、罫線による行全体のデザイン、テキストボックスでの文字デザイン、画像の挿入および編集について学習しチラシを作成する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p>
第6回	<p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>Word2016：可能性の高いデザイン(ポスター作成)</p> <p>① 文字入力が早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② テキストボックスでのレイアウト、均等割付け、割注等の設定、図形の挿入、テキストボックスのスタイル変更およびモニターの画像の文書内貼付け等について学習しポスターを作成する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p>
第7回	<p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>Word2016：段組みおよび縦書きレイアウト</p> <p>① 文字入力が早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② 入力した文書の段組み、ヘッダー・フッターの設定、縦書き2段組みレイアウトについて学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p>
第8回	<p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>Word2016：表の作成および編集</p> <p>① 文字入力が早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② 表の作成し、行と列の挿入およびセルの分割・結合、表のテキストボックス化等の表の編集方法について学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p>
第9回	<p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>Word2016：ハガキのデザインおよび名刺の作成</p> <p>① 文字入力が早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② ページをハガキや名刺サイズに設定し、挨拶文の自動入力の方法や名刺ラベル作成方法を学習し学生各自の名刺を作成する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p>
第10回	<p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>Excel2016：Excelの基本操作およびデータ入力</p> <p>① 文字入力が早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② Excel2016を起動し、画面の名称と機能について学び、実際にデータを入力し、セル幅・高さの変更および数値の表示形式の変更等について学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p>
	<p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p>

第11回	<p>Excel2016：計算式および関数設定</p> <p>① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② 計算式（数式）の入力方法、計算式のコピーおよび関数設定方法を学び、関数を使用しているワークシート内の計算方法（合計、平均、最大値および最小値）を学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。（2時間） 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間）</p>
第12回	<p>Excel2016：データの条件設定</p> <p>① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② データに条件を設定し判断や判別をさせる方法、条件付き書式の設定およびIf関数の使い方等を学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。（2時間） 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間）</p>
第13回	<p>Excel2016：集計表およびグラフ作成</p> <p>① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② セルにデータを入力し、合計と平均等の同時設定や絶対参照の設定方法について学び、入力したデータから棒・円グラフ等の作成方法を学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。（2時間） 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間）</p>
第14回	<p>Excel2016：データの並べ替えおよびデータ検索</p> <p>① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② データベースの構造について学び、データベースの並べ替え、データの検索および抽出方法を学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。（2時間） 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間）</p>
第15回	<p>Excel2013：予想シート</p> <p>① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② Excel2016から新機能として追加された予想シートの作り方を学び、作成した予想シートを使っての将来の値の求め方、関連の求め方について学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。（2時間）</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="checkbox"/></p> <p>4) 初年次教育 <input type="checkbox"/></p> <p>5) 実践的PBL <input type="checkbox"/></p>
テキスト	定平誠『例題35+演習問題65でしっかり学ぶWord/Excel/PowerPoint標準テキスト(office 2016 対応版) 2018年
参考書	よくわかるWordデータ、よくわかるExcelデータ
評価方法	課題/タイピング能力・・・90点 授業への参加意欲・・・10点
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。</p> <p>*遠隔授業の場合、評価方法を変更するため、ルーブリックについても変更あり。詳細は講義内で説明。</p> <p>成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている</p> <p>優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している</p> <p>良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している</p> <p>可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している</p> <p>不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない</p> <p>欠 (K) —：出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(保育科)</p> <p>【 】1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための能力を身につける</p>

<p>本日の内容</p>	<p>【○】2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追求する。</p> <p>【○】3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。</p> <p>【○】4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。</p> <p>【○】5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。</p>
<p>履修上の注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自USBメモリーを準備すること ・演習の授業です。受け身にならず、積極的に課題に取り組んで下さい。 ・毎回の演習内容を復習し次回の演習の予習を行う。 <p>*遠隔授業の場合、Microsoft Teams等で提示する資料や課題を必ず確認すること。 同時双方向型授業を実施する場合は、授業開始時にはPCで参加できるように準備すること。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>月曜日（14：50-16：10）内間研究室 上記の時間以外でも対応可能（事前予約必要）</p> <p>*遠隔授業実施期間においては、メールおよびオンライン面談（Microsoft Teams使用）を行う。 面談の設定については、Microsoft Teamsのチャットで連絡</p>
<p>課題に対する フィードバック方法</p>	<p>提出された課題は担当教員がチェックし、提出した課題の内容が不十分な場合には、改善点等を説明し再提出してもらいます。</p>